昭和医科大学病院附属東病院
SHOWA Medical University East Hospital

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔脳神経内科〕

指標名

脳神経内科領域疾患における神経緊急疾患の入院割合

目標・ゴール

脳卒中など神経救急に力を入れていることの評価とする。

明確な基準はないが、ここ 2 年の傾向を参考に、50%以上を保つ事を目指す

目標・ゴール達成による効果

神経救急の応需を出来る限り実践するため、年度による比較により、神経救急の応需の向上につながるものと思われる

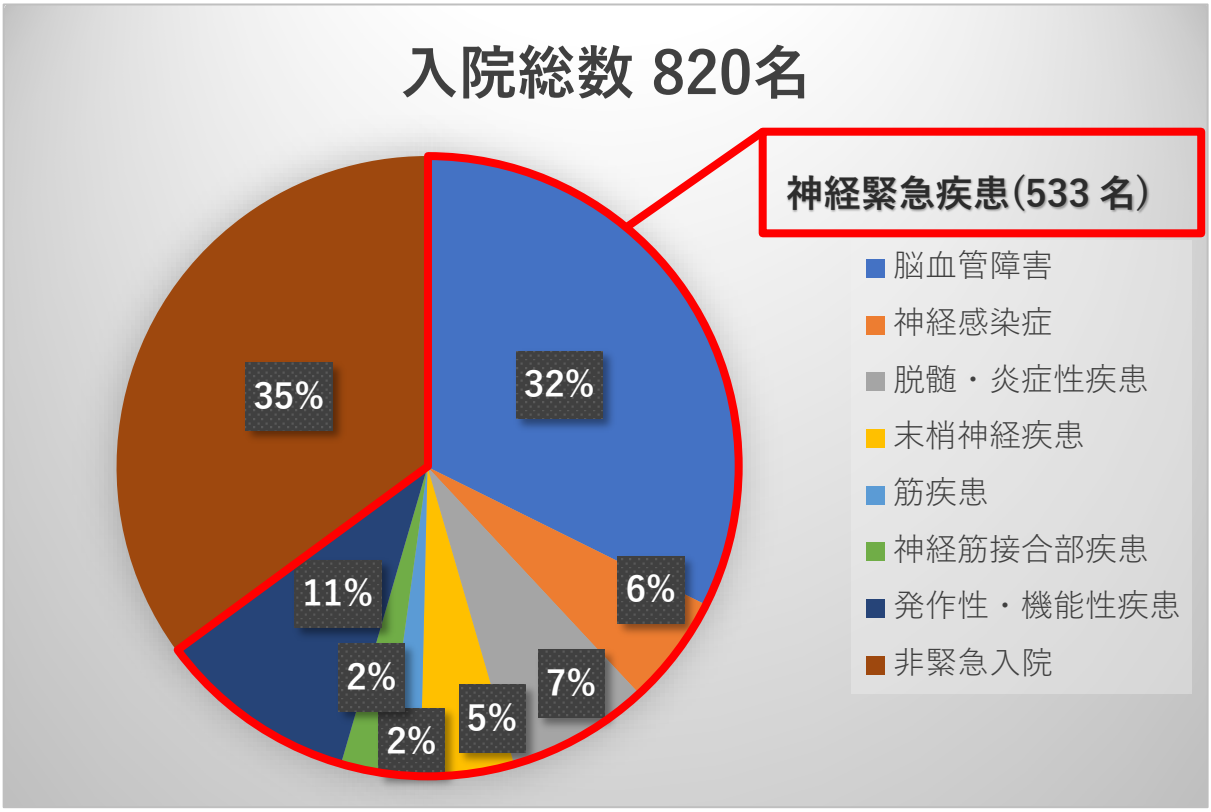
目標・ゴールに対する成果の状況

神経救急疾患患者入院数÷脳神経内科領域の全入院患者数

＝（265+47+61+40+15+19+86）/820　＝　0.6500…

65.0　%

※神経救急疾患とは、脳血管障害、神経感染症、急性脱髄疾患、急性末梢神経障害、急性神経筋接合部疾患、急性筋疾患、発作性機能性疾患を指す



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください
☐S　:大幅に目標を上回った
☐A^{+}:目標を多少上回って達成
☑A　:目標を達成
☐B^{+}:目標を少し下回った
☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2024 年度は、コロナ禍の影響がさらに減少し、通常の医療体制への移行が進んできている。2022 年度は 71.5%、2023 年度は 66.9%、そして 2024 年度は 65.0%と神経救急疾患入院率は徐々に低下しており、今を取り巻く医療情勢下通り、コロナ禍の影響は徐々に低下していると考える。引き続き神経救急の応需の向上につながるこの指標を継続することが好ましいと判断した。